



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年4月24日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 作家 村上春樹さん 単独インタビュー

24日(日)＝文化面

スコット・フィッツジェラルド「最後の大君」(村上春樹訳、中央公論新社)

### THE LAST TYCOON 最後の大君

スコット・フィッツジェラルド  
村上春樹 訳



SCOTT FITZGERALD  
中央公論新社

作家の村上春樹さん(73)が毎日新聞の単独インタビューに応じました。

新訳本やウクライナでの戦争、映画「ドライブ・マイ・カー」、小説を書く意味まで、

いま一番聞きたい話題について、幅広く語っています。

新訳本は村上さんが長年愛読し、翻訳してきた米作家フィッツジェラルドの小説「最後の大君」。ロシアに

よるウクライナ侵攻に対しては、自らDJを務めるラジオ番組で「音楽に託した」真意を述べています。

## 論点

### 「断捨離」を考える

27日(水)＝オピニオン面

古くなったり使わなくなったりした物を整理して廃棄する「断捨離」は、新型コロナウイルス禍で在宅勤務の機会が増える中で改めて見直されています。

断捨離を20年前か

ら提唱し続け、浸透させてきたやましたひでこさん＝写真右＝と、1月に「捨てない生き方」という本を出版した作家の五木寛之さんに、考えを語ってもらいます。



## 特集 ワイド 歌手 尾崎豊さん 没後30年

25日(月)＝夕刊特集ワイド面

反逆する若者の心を歌い、「伝説のロック歌手」といわれた尾崎豊さん＝写真＝が26歳でこの世を去って、25日で30年。自分を押しつぶすような社会からの解放を歌い、生きる意味を求め続けた姿は、今も多くの

人々をひきつけています。尾崎さんの長男でシンガー・ソングライターの裕哉さん(32)は「小さい時から尾崎豊のファンですね。愛情がこもっていてメッセージ性のある音楽が好きです」と語ってくれました。



戦争で大きな犠牲を被るのは、いつの時代でも市民たちです。太平洋戦争の東京大空襲では約10万人もの命が奪われました。空襲に遭った人々は今、「ウクライナで起きている出来事は人ごとではない」と口をそろえます。

## 戦争体験継承へ奮闘の原動力は

24日(日)＝1、3面

平和が揺らぐ中、戦争被害者の「語り」を記録した動画を作り続け、空襲被害者を救済する法案の成立に向けて活動している男性がいます。福島宏希さん(40)＝写真。戦争を語り継ぐと奮闘する福島さんの原動力に迫ります。

## 新毎日



2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年  
(小野田香織)

ぜひご参加ください！  
Dをお持ちの方は無料  
でご視聴いただけます。  
2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年



## 竹橋の窓辺から

編集後記

